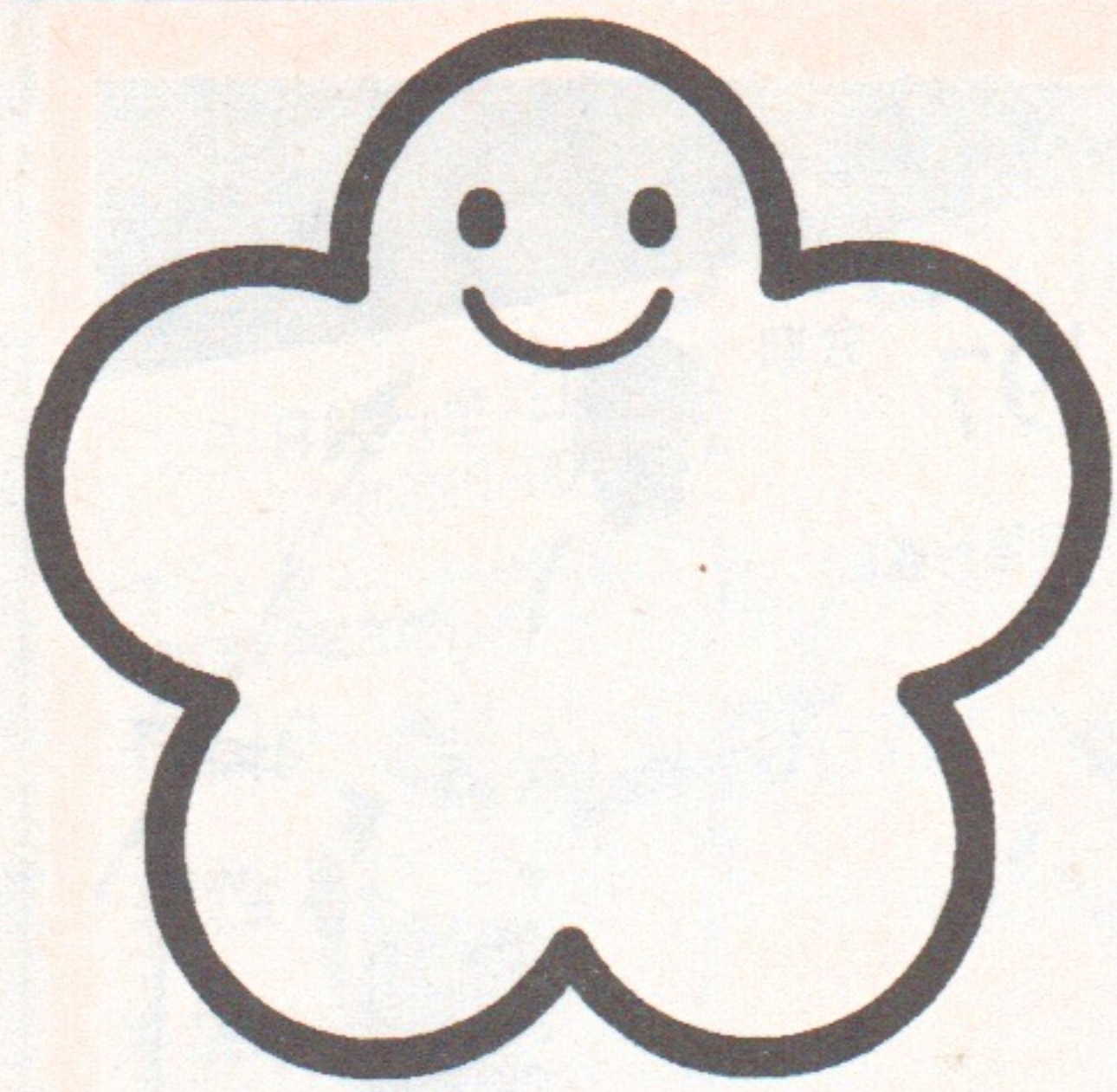




Nihongo Network News

1997.3.24

発行

No.

14

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 ☎ 03-3235-1171

TOKYO地球市民フェスタ'97 多彩なイベントに、8万人が来場!!

国際交流・国際協力をテーマに
市民フェスティバルを開催。

2月21日(金)から23日(日)までの3日間、有楽町の東京国際フォーラムを会場に『TOKYO地球市民フェスタ'97』が開催されました。これは、国際交流・国際協力・外国人支援にかかわるボランティア団体やNGOと、東京都などの自治体との協力で企画された市民フェスティバル。市民団体と自治体との協力による初めてのイベントで、東京国際フォーラムのオープニング

イベントの一環として
開催されたものです。

この1月にオープンした東京国際フォーラムの約5,000㎡の展示ホール、大小ふたつのホール、25室の会議室を会場に、約100団体のボランティア団体・NGO・自治体などが参加。国際シンポジウム・外国人なんでも相談・コンサート・セミナー・活動紹介など、多彩なイベントが行われました。

国際交流・国際協力・外国人支援にかかわるさまざまな団体が一堂に会する初めてのイベントということもあり、3日間で約8万人が来場。会場は外国人を含めた多くの来



▲展示ホールは約100団体のブースやミニステージでにぎやかに

場者で連日にぎわいました。また、会期中の会場スタッフには3日間で延べ800人のボランティアが活躍。東京の国際化について考え、新たな情報や人のネットワークを広げるまたとないチャンスとなったようです。

日本語教室ガイドの配布や和服着付&お茶席を開設。

TNVNもこのTOKYO地球市民フェスタ'97の実行委員会運営委員として企画の段階から参加。会期中は、展



▲ミニステージでは日本語学習者がモデルとなって華やかなきものショーを開催

示ブース・ミニステージでのイベント・会議室での活動紹介などに参加しました。TNVNの展示ブースでは、活動案内やニュースレター、新たに発行された『ボランティア日本語教室ガイド 1997』の配布をして日本語ボランティア活動を紹介しました。あわせて、花衣アカデミーのご協力によって振り袖や羽織袴・十二単が着られる『和服の着付体験コーナー』と、お抹茶と和菓子を味わえる『お茶席』を開設して、日本の伝統文化を紹介。連日、たくさんの来場者が『ボランティア日本語教室ガイド』を手にしたり、慣れない正座で茶道のお手前を見学したり、振り袖姿で記念撮影をする外国人や日本人でにぎわいました。

ミニステージのイベントには外国人の出演者が大活躍!

同じ展示ホール内のミニステージでは、22日にはTNVNと花衣アカデミーの共

催できものショー『日本の伝統 きのもの春夏秋冬』を開催。本格的な十二単の着付をはじめ、お雛さまの衣裳をまとった子どもたちの姿やユーモラスな安来節などの楽しいショーに拍手喝采。ショーの最後には、振り袖や羽織袴の外国人が登場し、日本語のショートスピーチをして日頃の学習の成果を披露しました。

また、23日には同じミニステージでTNVNの主催によるショー『ワールドパフォーマンス』を開催。韓国のコーラスとチャング(太鼓)、ムエタイ(タイ式ボクシング)のデモンストレーション、ラテンミュージックの演奏(ペルー)、沖縄のエイサー(盆踊り)、アフリカンミュージック(ザイール)という多彩なプログラムで、最終日の会場を2時間にわたって大いに盛りあげました。

このTOKYO地球市民フェスタ'97は、開催まで約1年間にわたって企画会議



▲ワールドパフォーマンスでのザイールのミュージシャンの演奏には会場からのアンコールも

や運営委員会・実行委員会を繰り返して準備された、まさにボランティアによる手作りのイベント。開催までの運営スタッフの労力はほんとうにたいへんなものでしたが、東京国際フォーラムへ連日多数の来場者がつめかけ、バラエティゆたかな参加団体によるイベントが開催されたことは、大きな成果として今後の活動に実を結ぶことでしょう。

山田 泉先生をお招きして TNVN 設立3周年記念の集いを開催

1993年12月にTNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークが結成されて以来、昨年12月で満3周年を迎えました。これを記念して、TNVNでは「設立3周年記念の集い」を'96年12月21日(土)午後2時から、飯田橋セントラルプラザ6階 視聴覚室で開催しました。

この日は、TNVN協力会員でもある大阪大学留学生センターの山田 泉

先生をゲストにお迎えして、お話をお聞きました。山田先生は「TNVN設立のきっかけとなった'93年秋の『ぼらんていあめっせ』の日本語ボランティア分科会に、多くの人たちが集まったときの熱気を昨日のこのように思い出します」と、TNVN3周年への感慨を述べた後、川崎市外国籍住民実態調査の資料をもとに外国人問題と地域社会をテーマに講演。日本語ボラン

ティアにとってかわりの深い外国人との共生について、考えさせられる貴重なお話をうかがうことができました。

お話のあとは、山田先生を囲んで参加者の懇親会を開催。日頃顔を合わせる機会の少ないさまざまな地域からの参加者とともに、それぞれの地元での活動やその問題などを話し合い、短い時間でしたが楽しい交流のひとつとなりました。

第4回TNVN総会を開催 4年目の活動がスタート!!

新しい年を迎え、今年もTNVN第4回総会が1月25日(土) 午後2時から飯田橋の東京ボランティアセンター学習室において開催されました。正会員(団体会員)や協力会員(個人会員)など多くのみなさんの参加で、昨年度の活動報告・会計報告、また今年度の新役員の選出、今年度の活動計画・予算案の承認などが行われました。

今年度のTNVN役員には下記の方々を選出されましたので、ここにご紹介します。TNVNでは、今年も日本語ボランティアの活性化に役立つ活動を計画していますので、みなさんのご意見・ご要望をぜひお寄せください。



◆代表／中田 紀子

(多摩市国際交流センター／多摩市)

TNVNの存在を扇の要として見たとき、その位置づけは急速に確立され、活動形態も情報を会員に発信するだけでなく、対外活動も多くなってきました。その結果、要として活発な広がりをもたらしましたが、短期間に発展した組織にありがちな活動の空洞化現象にも気配り

しなければならない時でもあると思います。事務局スタッフの労力を無駄にしないためにも情報が会員の隅々まで届くよう心を配り、TNVNの存在価値を自然体で守っていきたいと思います。

ボランティア日本語教室ガイド発行の夢も叶い、外国人の方々へさらに充実した生活支援ができると信じています。多様化するニーズに応えるべく努力し、点から輪になり、そしてネットとなって定着することを願い、皆様のご指導を仰ぎつつ活動を続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◆副代表／渡辺 昌人

(LTC友の会／杉並区)

「風のない、波のない環境のなかでは、すばらしい船頭は生まれない」という名言があります。今年こそはまさにその試練の年となりましょう。そのなかで、私も微力ながら中田代表を補佐してまいります。会員の皆様もお力をおかしてください。

◆事務局長／林川 玲子

(青山日本語クラブ／港区)

世界中どこでもボランティア日本語教室の情報が手に入れば、初めて日本に来る人は心強いでしょうね。TNVNがスタートした頃、こんな会話をよくしました。それもそろそろ夢ではなくなってきたようです。情報社会の進み方は信じられないほどですから。TNVNも同様、この3年間まわりの要求に応じてめまぐるしく変わりました。最近では日本各地の日本語ボ

ランティア団体から見習うべき先輩と見られていることをひしひしと感じ、早く日本語ボランティアのあるべき姿、その理念など確立しなければならないと思います。

不器用な事務局長としては目の前の仕事をこなすのにせいっぱいで、後任を探すひまもつくれませんでした。というわけで、また今年度もよろしくお願いいたします。

◆会計／吉田 静代

(TUDO BEM 日本語教室／文京区)

「家のなかもボランティアをして!」と言われてからずいぶん経つ。この頃「若く見える」と周りの人から言われるが、よく考えてみると、特効薬は年代を越えた人たちとともにボランティアをしていることかもしれない。私は主人に「今日も飯田橋へ行ってきま〜す」。

◆会計／大久保 澄子

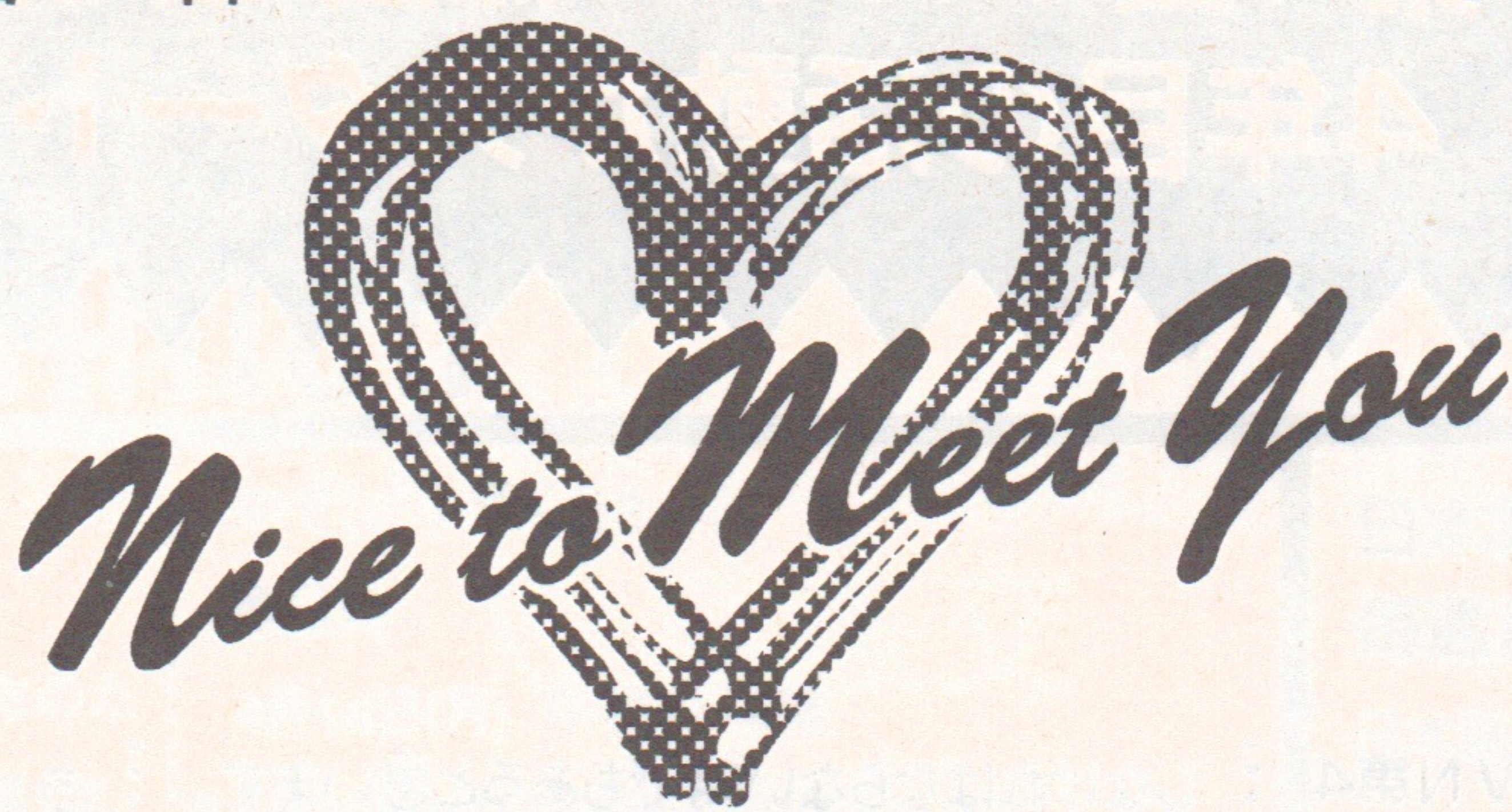
(弥生日本語の会／文京区)

1年のつもりが、2年目に突入……。この1年間で、おかげさまでパソコンも覚えられ……。それでは、そのお返しにあと1年。会費の納入、よろしくご協力ください。

◆監査／床呂 英一

(まちだ日本語ボランティアネット／町田市)

昨年1年間、運営委員として運営委員会に参加し、皆さんの活発な論議を聞かせていただいて、たいへん勉強になりました。今年は監査ということで、精一杯努力し、お役に立ちたいと思っています。



● 手作りテキスト ● 『生活漢字306』を制作

● アジアの女たちの会・
● 立ち寄りサポートセンター
● 町屋日本語教室 (荒川区)
● 佐藤 智代子

● 毎月第1・第3日曜日の1:30～4:30 PM、荒川区の町屋ひろば館でクラスがあります。生徒は、日本人男性と結婚したフィリピン女性がほとんどです。はじめの2時間をレベルごとの個別レッスン、そしてお茶を飲みながらの全体レクチャー、ミーティングをやります。ほかにタイ・中国・韓国などのアジア女性が集っています。ボランティア約20名で、先生・ベビーシッター役を組んでいます。

● 今年で7年目ですが、定住化傾向にある生徒たちの生活のサポートを考えるうちに、勉強内容は文字の習得に重点が置かれるようになりました。そこで、昨年、漢字テキスト『生活漢字306』(B5判/464頁、2,500円)を自主制作しました。熟語にタガログ語と英語の対訳を付けるなど、企画・編集制作・翻訳と、すべて生徒・ボランティアの手作りです。

● クラスに定期的に来られない人の自習教材としても使えるように考えたテキストですが、実生活で役に立つ内容にしたことや、生活ガイド・対訳インデックスを付録にしたことで、口コミ・ミニコミ・マスコミと宣伝が広がって、全国から数多くのお問い合わせをいただくようになりました。

● 本を作ったことで皆、自信がもてましたし、教室ができてから様々



● な出来事がありました。また一山越えたなあと感じます。

● 相互理解を促進する ● イベントを開催

● JAMIC日本語クラス (八王子市)
● 谷口 理恵

● 私たちのグループは3年前にできた会員8名の小さなグループです。地域に東京都立大学があり、その留



● 学生・研究生・その家族などに日本語を教えています。学習者はガーナ・エジプト・インド・中国などさまざまな国籍の人がいます。日本語を教えるときは、各会員の自宅や学習者の自宅で個別に行っています。今の問題は、まとまって日本語を教える場所がないということです。八王子市は公共の施設を借りると有料なので、私たちのような小さなグループでその費用をまかなうことは相当の負担です。もしそういう場所があれば、彼らのお互いのコミュニケーションの場になったり、助け合えたりできると思います。

● また、ボランティアで日本語を教えることは、彼らを取りまく社会問題にもかかわっていくことであり、その問題を理解することが大切だと思います。そのひとつとして、地域の人々と外国人の相互理解を深める意味で小さなシンポジウムをひらいたりしています。第1回目は韓国の女性と地域の女性たちとでお互いの国の生活文化や考え方を知る会が行われました。限られた時間の中でも充実した意見交換がありました。相互理解をするこのような会をひき続き計画しています。これからも地道な活動を行っていきたいと思っています。

『ボランティア日本語教室ガイド 1997』発行!!

'94年秋の『東京ボランティア日本語教室ガイド』の発行から2年が経過し、活動状況や連絡先の変更、会員団体数の増加などから、新たなボランティア日本語教室ガイドの発行が待望されていましたが、この度、日本国際通信株式会社のご協力により『ボランティア日本語教室ガイド 1997』を2月末に発行。さっそくTOKYO地球市民フェスタ'97においてTNVNの展示ブースや外国人なんでも相談の窓口で配布しました。

今回の『ボランティア日本語教室ガイド 1997』は、B5判124ページ。TNVN正会員78団体(145教室)のボランティア日本語教室のデータを日本語と英語で掲載しています。索引は、教室の活動地域(区・市)別、団体名の五十音順、団体名のアルファベット順のほかに、クラスの開催曜日・時間帯別のものも掲載。また、週末のクラス・午前のクラス・午後

のクラス・夜間のクラス・子ども連れで通えるクラスなどが、一目でわかるようにマークで表示されています。

さらに、巻末にはTNVN会員以外の日本語教室のデータや国際交流関連機関や全国の日本語ボランティアネットワークの一覧、外国人のための相談窓口や情報源のリストもあわせて掲載。制作決定から発行まで限られた時間内での編集作業となったため、まだまだ改善の余地もありますが、とりあえず最新の情報を見やすく編集することができました。会員のみなさんのご協力に感謝します。

この教室ガイドはTNVN会員のみなさんには1冊無料でさしあげますが、郵送料についてはご負担をお願いしています。入手方法は次の通りです。

①TNVN事務局へとりに来る。(無料)
事務局は東京ボランティアセンターで、毎週月曜日の13～20時まで開設し



ています。

②郵送料分の切手(390円)を事務局へ郵送する。

到着次第、すぐに教室ガイドを送ります。

③'97年の会費に郵送料(390円)をプラスして払い込む。

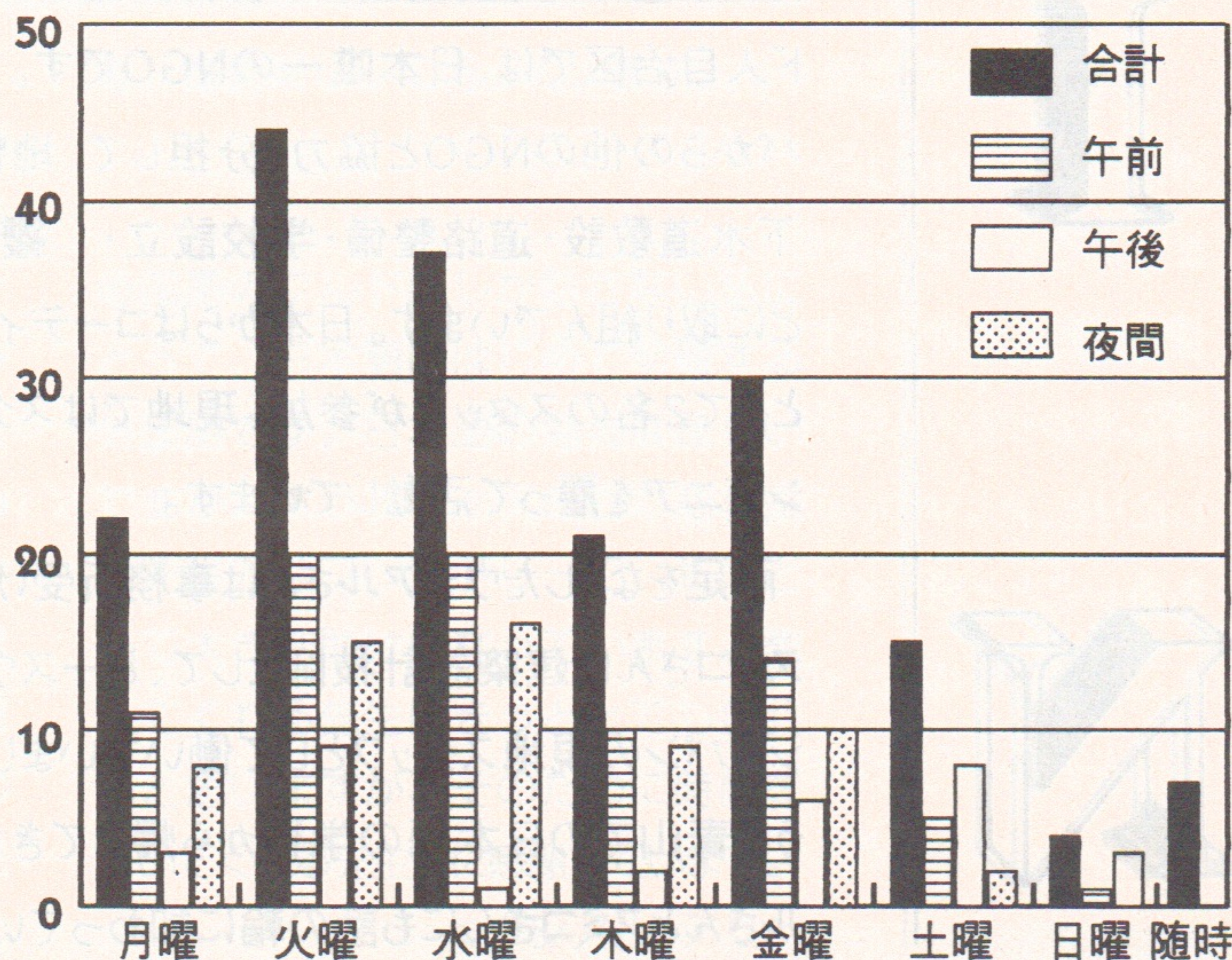
入金を確認され次第、すぐに教室ガイドを送ります。

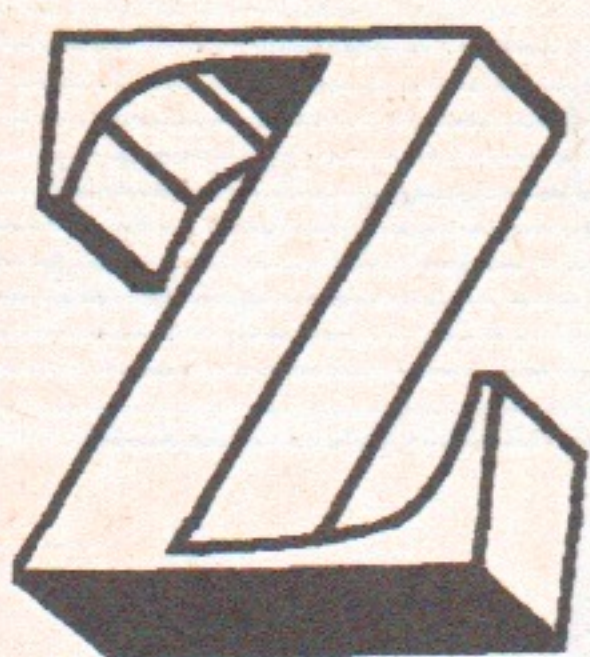
データに見る 日本語ボランティア

TNVNでは、ボランティア日本語教室ガイドのアンケートをもとに、現在データを集計中です。今回から、ボランティア日本語教室のさまざまなデータをご紹介します。

	午前	午後	夜	合計
月曜	11	3	8	22
火曜	20	9	15	44
水曜	20	1	16	37
木曜	10	2	9	21
金曜	14	6	10	30
土曜	5	8	2	15
日曜	1	3	0	4
随時				7
合計	81	32	60	180

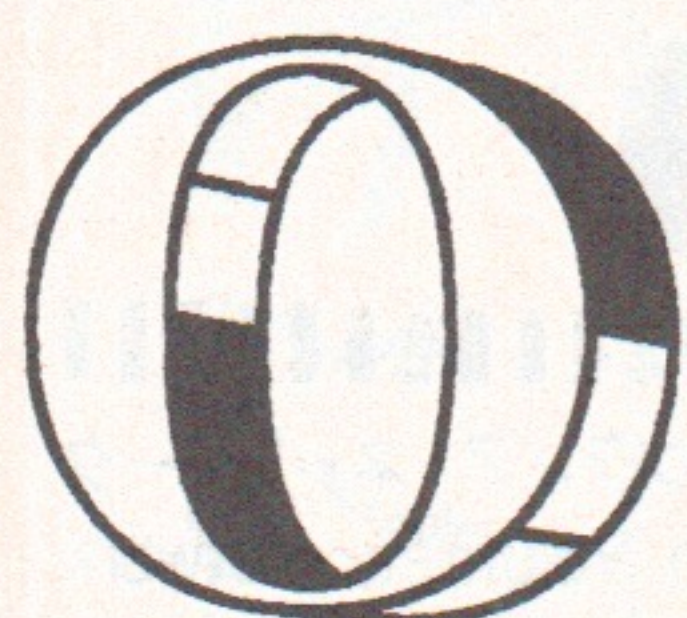
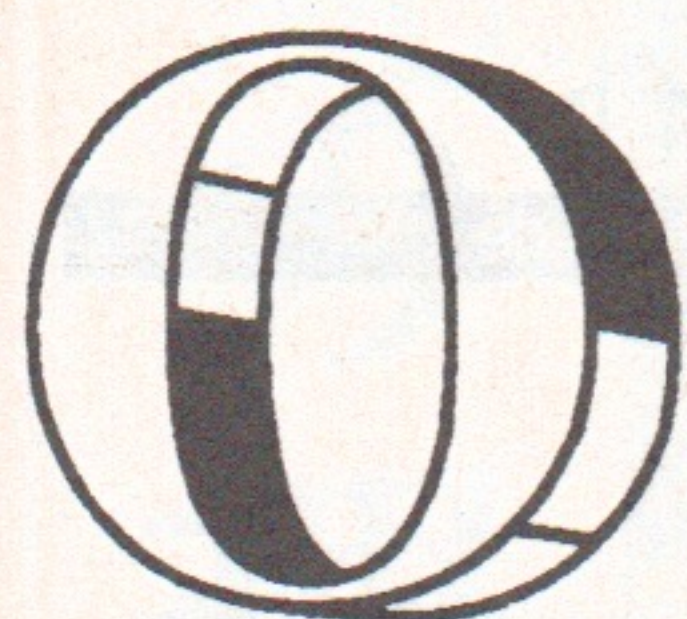
ボランティア日本語教室の開催曜日・時間別データ





Peace Winds Japan

〒150 東京都渋谷区恵比寿1-22-23 ヴェラハイツ恵比寿505
TEL/03-3446-9431 FAX/03-3446-9432



「必要な人に必要な支援を届けたい」 クルド人自治区を支援するNGO。

現在、さまざまな分野で国際協力のために活動しているNGO（非政府組織）は、数えきれないほどの団体があります。そのなかのひとつ、＜ピースウィンズ・ジャパン＞は'96年2月に設立された比較的新しいNGOの団体です。今回はこのピースウィンズ・ジャパンの事務所をお訪ねして、スタッフの金子さんに活動についておうかがいしました。

■地雷撤去やインフラ整備など、 ■幅広いフィールドで活動

TNVNのメンバーである青山日本語クラブを、クルド人のウシアル・アリさんとスミコ・アミンさんがはじめて訪れたのは'96年11月のこと。二人は、ウシアルさんの義足を作るため（スミコさんは通訳として）、そしてクルドの現状を伝え協力を得るために、ピースウィンズ・ジャパンの招きで来日しました。

ピースウィンズ・ジャパンは「必要な人へ必要な支援を届けたい」というスローガンのもと、'96年2月に設立された支援団体。現在活動しているクルド人自治区では、日本唯一のNGOです。ヨーロッパからの他のNGOと協力・分担して、地雷撤去・下水道敷設・道路整備・学校設立・ 櫻子活動などに取り組んでいます。日本からはコーディネーターとして2名のスタッフが参加、現地ではスタッフ・エンジニアを雇って活動しています。

両足をなくしたウシアルさんは事務所受け付けで、スミコさんは建築設計技師として、ピースウィンズ・ジャパンの現地スタッフとして働いていました。ちょうど青山での日本語の学習から帰ってきたウシアルさんとスミコさんにも話の輪に加わっていただき、

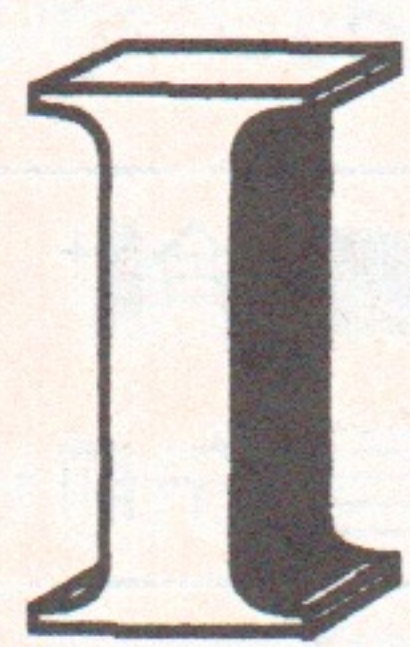
トルコのお茶をごちそうになりながら聞いた話は悲惨なものでしたが、彼らのクルド人としての誇りをもって生きる姿、そして何よりも明るい性格に逆に励まされる思いで帰ってきました。

■「地雷を除けば村が生き返る」 ■人々の思いをNGOが支援

シリア・トルコ・イラン・イラク・中央アジアにまたがる地域に住むクルド民族は1500～2000万人で、第1次大戦の戦後処理で5カ国に分断された国家なき民族といわれます。そのうち北イラク・クルディスタン地区には、約350万人のクルド人が居住しています。なかにはイラク政府から迫害を受け、自分の故郷を爆撃されて追われてきた人たち（国内避難民）もいます。クルド人同士の抗争も激しく、戦火が再発しているところです。

さらに、イラク北部にはイラン・イラク戦争やイラク軍のクルド人制圧作戦によって400万個もの地雷が埋められており、農作業中の被害も後を絶ちません。地雷除去は住民の安全な生活のためには重要な仕事ですが、危険を伴うもの。ウシアルさんはその地雷除去の作業中に、'89年には右足のひざから下を、'94年には左足を太ももの中ほどから失ってしまいました。また、彼は兄弟二人も地雷除去中に死亡し、'88年のサダム・フセインによる化学兵器でのクルド人の大量殺害では故郷ハラブジェで両親や姉を殺されました。

度重なる不幸にもめげず、ウシアルさんは働けるようになったら、再び地雷除去の仕事につき、故郷の再建に力を尽くしたいと考えています。優れた技





術を持つ日本での義足作りは、そんな彼の望みをかなえる第一歩でもありました。杖もいらず痛みもなく歩け、仕事ができる。彼は今は国の情勢を見ながら、故郷に帰れる日を待っています。

■ 現地でのプロジェクト展開には ■ 活動費用の捻出が最大の課題

昨年8月以来、市民はイラク軍の侵攻を気遣いながら不安な生活をしています。現地での支援活動は、難民・避難民の大量発生など不安定な情勢の中で続けられていますが、NGOのプロジェクトの縮小などで厳しい状況で、食糧・医療など生活を援助に頼っている一般市民にも大きく影響しています。寒さの厳しい冬には、市民への越冬用品の支給、医療の援助なども必要です。また、現地でスタッフを雇うこと自体が、産業のない地域での援助のひとつ。20～30人が医療スタッフ・エンジニア・建築技師として働いています。

ピースウィンズ・ジャパンは昨年8月にウシアルさん・スミコさんを日本へ呼びましたが、情勢不安定な国からの出国の手続きだけでもたいへんな手間と

時間のかかるものでした。「不自由な足と不自由な言葉での不便な生活、最初は身振り手振りで危険を伝えたりとスタッフはたいへんだった」と、彼らが来日した当初のことをふりかえります。また、日本での生活費（彼らは現在、ピースウィンズの事務所で生活しています）、義足を作り、京都まで通う交通費などの出費を捻出するのにもたいへんなこと。そのため、Tシャツやグリーティングカードの販売（好評により完売。現在、クルドの文化を伝えられる作品を考案中）や、各地での講演会で協力をお願いし、その売り上げや寄付などは滞在費やプロジェクト費にあてられています。

東京事務局では、定期ニュースレターで支援地域の現状、活動を知ってもらい、援助してくれる会員を募集しています。現在、会員は全国に2700人。去年はモンゴルの火災避難民の越冬支援もおこない、現在ルワンダでの難民支援も調査・計画中ということです。問い合わせは事務局まで。

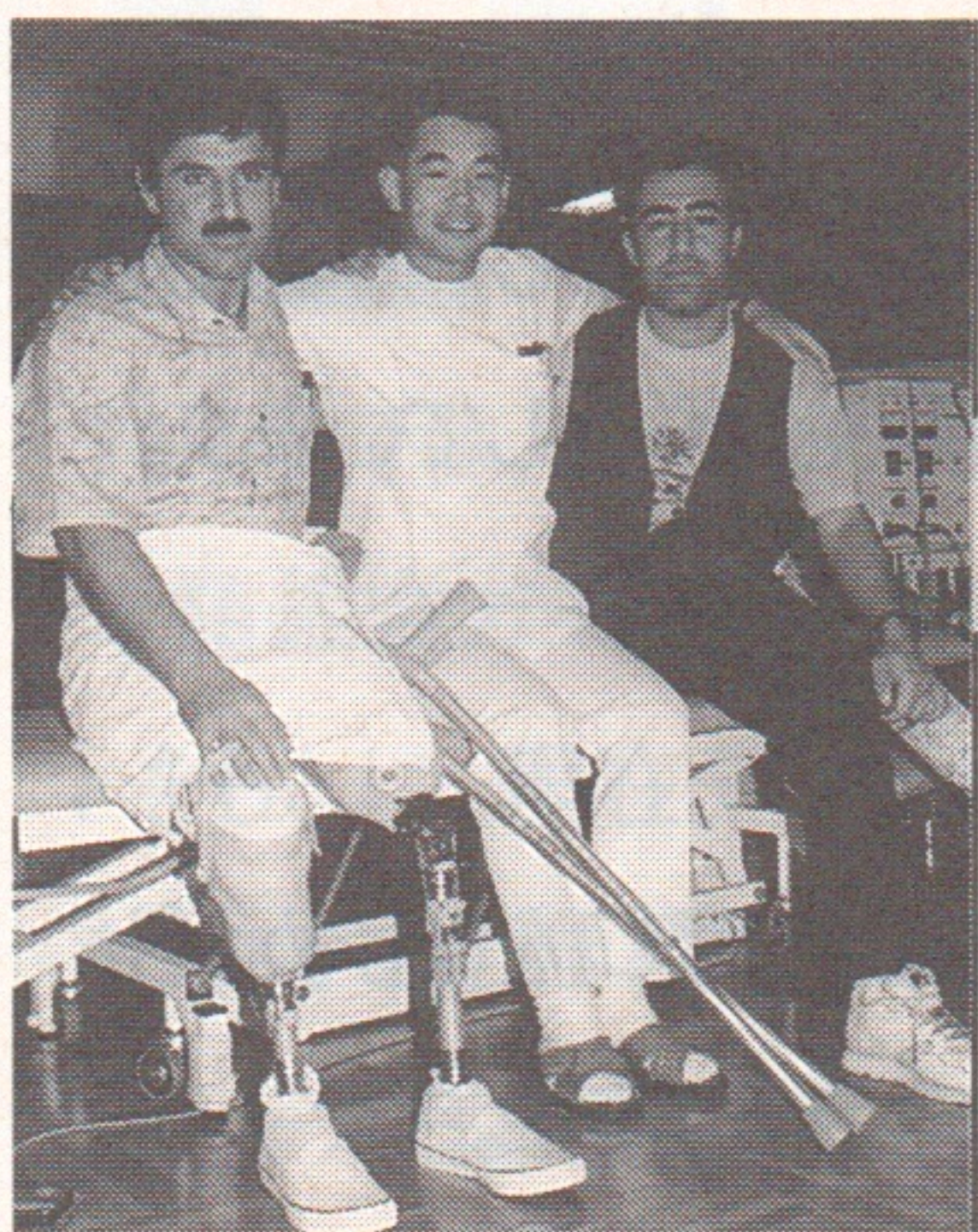
◆ピースウィンズ・ジャパン

年会費 12,000円（1か月1,000円）以上

郵便振替 00160-4-583326

Roz bas!

（クルド語で『こんにちは』）



左端がウシアルさん、右端がスミコさん。

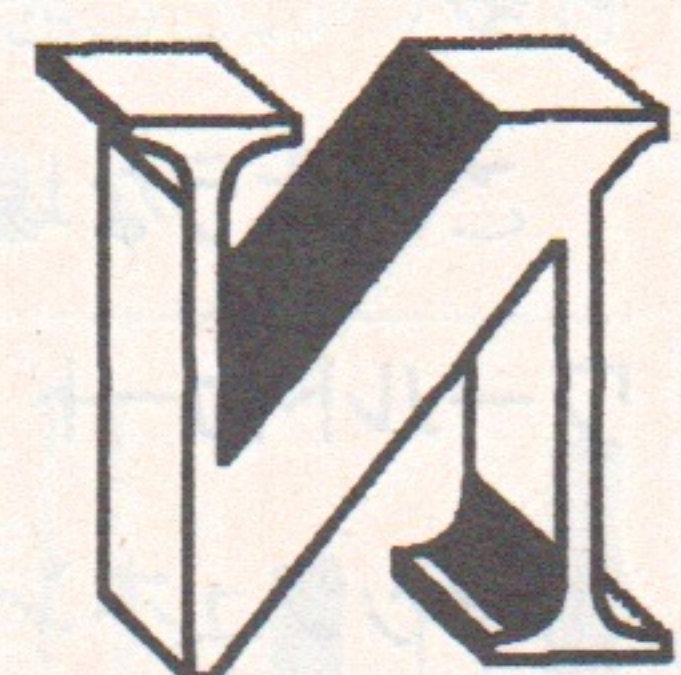
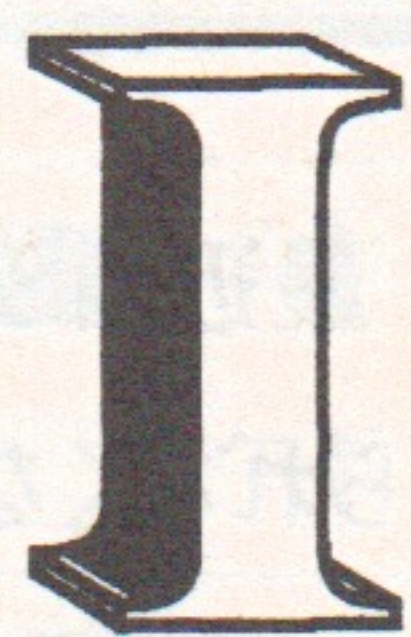
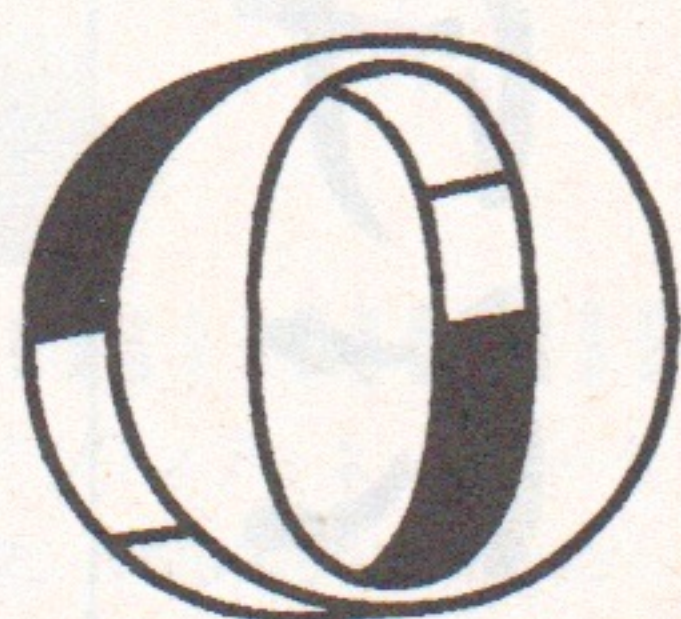
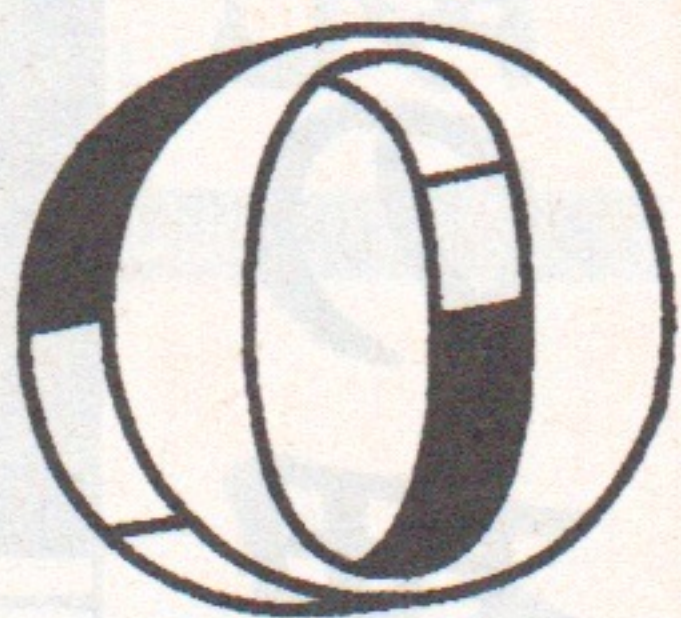
T.N.V.N.のみなさん、こんにちは。私たち人類は昔からボランティアの精神を持って共同生活を営んできました。しかし、現代はテクノロジーの開発で人間関係も複雑になり、多くの人々はこのすばらしい精神を失っています。私は開発に反対するものではありませんが、共同やボランティアの精神を失わない開発が望ましいと思います。ボランティアの日本語教室はたいへんすばらしいもので、たいへん役に立っています。この日本語教室のある火曜日が来るの

を、毎週楽しみに待っています。

<スミコ・アミン>

母国語のクルド語しか話さない私にとって、日本語ははじめて学習する外国語です。日本語の勉強は難しいですが、ボランティアの日本語教室の先生方はフレンドリーで、私にとって大きな助けになっています。教えてくれる先生はきっととても疲れと思いますが、そのために時間をさいてくれる先生方に感謝しています。

<ウシアル・アリ>



第7回

価値観の押しつけについて

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師

福田 知行

日本語を学びはじめるとすぐに家族の名前がでてきます。「父／おとうさん」「母／おかあさん」などですが、「兄／おにいさん」「弟／弟さん」「姉／おねえさん」「妹／妹さん」まではいいとして、「主人／ご主人」「家内／奥さん」に至っては何とって説明したらいいか、ほんとうに困ります。もちろん「主人」とか「家内」あるいは「奥さん」という表現を、「家の中心となる人」とか「いつも家の内にいる人」あるいは「家の奥にいる人」と思って使っているわけではないという人がほとんどでしょうが、だからといってそれだけが『正しい日本語』だと考えることも危険なことだと思われます。

日本語の家族の名称の中には『男尊女卑』と『他者尊敬・自己謙遜』と『年長者尊重』という3つの価値観あるいは尺度が入り込んでいます。現在の日本では『男尊女卑』の考え方を持っている方はおそらく非難されることが多いでしょうが、『他者尊敬・自己謙遜』は古きよき考え方だと考える方も少なくなく、『年長者尊敬』に至っては人間として当然と考える人がほとんどだと思われますが、どの考え方も文化によって、社会によって微妙に異

なってくるということは知っておく必要があるのではないのでしょうか。

つまり、『正しい日本語』が『いい言葉』かどうかという問題です。歴史的に見れば、どんな社会も差別や人権無視を繰り返してきたわけですから、それが言葉に反映されているのは当然です。ですから、少なくとも日本語学習の場面に接する人はそうした点については敏感であってほしいと思うのです。

たとえば、「男らしさ／女らしさ／子どもらしさ」とはいったい何でしょう。「先生／生徒」という言葉はどんな力をもっているのでしょうか。初老の方が「おじいさん／おばあさん」と呼ばれると嫌な気分になるのはなぜでしょうか。日本社会が持っている価値観について常に注意を払いたいものです。



便利でおトクな KDDスーパー ワールドカード

最近、「公衆電話から国際電話がかけられなくなった」という声をよく耳にします。不正テレカ対策とはいうものの、国際電話のかけられる電話ボックスを探しまわったり、百円玉を大量に用意したりと、たいへん不便を感じている方も多いことと思います。

このような場合、ぜひ「KDDスーパーワールドカード」をお試ください。

①プッシュホンであれば自宅はもちろん、

公衆電話からもかけられます。

②NTTドコモのデジタル携帯電話からも契約不要でご利用になれます。

③かけ方は受話器から流れるガイダンスにしたがってダイヤルするだけ。とても簡単です。

④通話料金はKDDの国際ダイヤル通話料金が適用されてたいへんおトク。さらに、プレミアムも付いています。

⑤海外から日本へもダイヤルできるので、外国人はもちろん、旅行者へのプレゼントにも最適。

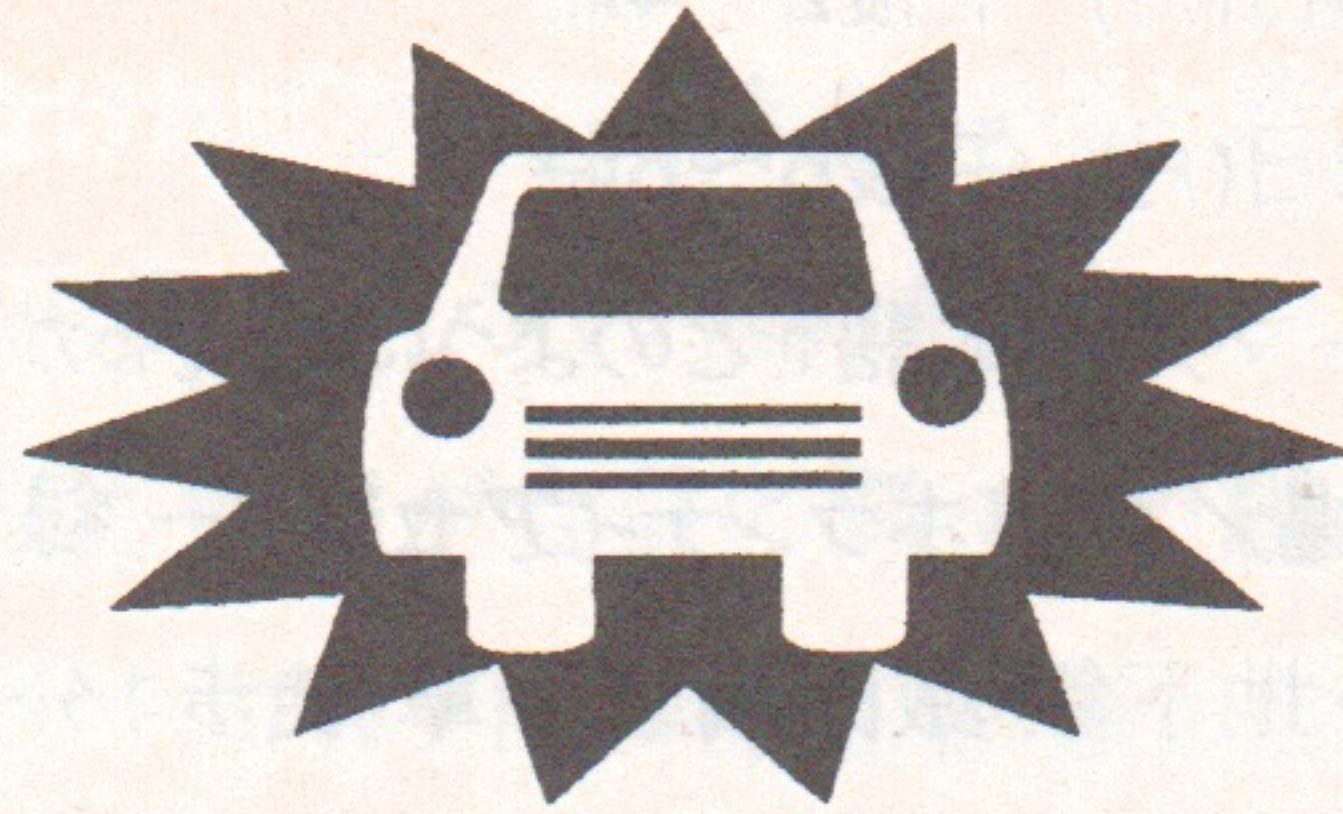
⑥KDDスーパーワールドカードに関するお問い合わせは「局番なしの0057」まで。24時間無料でサポートしています。



お買い求めはKDDの窓口をはじめ、各コンビニエンスストアでどうぞ。

外国人のための
生活ケア講座 No.6

緊急時の対処方法 交通事故



ふだんから気を付けていても、天災・人災はある日突然やってきます。その瞬間、多くの人慌ててしまい、適切な対処を忘れてしまいがち。とは言っても、日本の生活に不慣れな外国人にしてみれば、どうしていいのやらわからない場合も多々あります。突然災害が起こっても冷静に対応できるように、基本的な緊急時の対処法を考えてみましょう。

◆交通事故にあった場合◆

危険はどこにでも待ち受けています。「自分は車を持ってないから、交通事故なんて他人事」と思っても、意外に多いのが自転車事故です。ブレーキが効かなかったり、前方不注意、大通りへの飛び出しなど、危険がいっぱいです。

◆交通事故に遭ったら、◆

1. まず、相手の住所、氏名、電話番号を聞きます。
 2. 警察に電話をして警察官の立会いを求めましょう。
- 警察署への電話は110番。

警察官が立ち会って、調書を作成してくれます。これは、事故の様子やどちらに責任があるのかを判断するために重要な資料となりますし、治療費の請求にも必要です。

たとえそのとき大ケガでなくても、後で後遺症が残ることもありますから、必ず病院で検査をしてもらいましょう。もちろん、あなたが加害者になってしまった場合にも同じように対処をしてください。

◆便利な交通災害共済制度◆

いざと言うときのために、交通災害共済制度を紹介

介しておきます。東京都内の区や市には、住民福祉を目的とした交通災害共済制度があります。1年間有効で、交通事故のときに見舞金が支給されます。見舞金の金額はケガの程度や加入料によって異なります。コースは次の3コース。

★加入料500円……医療機関で1～6日間治療した場合1万円、死亡の場合は150万円。

★加入料1000円……医療機関で1～6日間治療した場合2万円、死亡の場合は350万円。

★加入料2000円……医療機関で1～6日間治療した場合3万円、死亡の場合は600万円。

加入方法は、各銀行の窓口で加入用紙に記入するだけ。ケガの程度によって金額は異なりますが、この制度は自転車に乗って自分で転んでけがをしたときでも適用されますので、入っておくとよいでしょう。

◆交通事故を対象とする相談機関◆

- (財)日弁連交通事故相談センター本部

Tel/03-3580-1892

月～金曜日/10:00～16:00、土曜日/10:00～12:00

- (財)日弁連交通事故相談センター東京支部

Tel/03-3581-1770 月～金曜日/13:00～15:30

被害者になっても加害者になってもたいへんなのが交通事故。日頃から十分気をつけるにこしたことはありませんが、万一の場合の対処について知っておいたほうがよいものです。次回は、急病や盗難、地震などの場合の対処について考えてみたいと思います。

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア 入門講習会、開催中

これから日本語ボランティアをしたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、新たに東京ボランティアセンターでスタートしました。

毎月午後と夜各1回の開催で、どの回からでも受講できます。全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

なお、5月は会場の都合でお休みとなります

ので、ご了承ください。

◆日時

4月14日(月) 午後2～4時

4月28日(月) 午後6～8時

◆テーマ/日本語をどのように教えるか

◆会場/東京ボランティアセンター 録音室
(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆参加費/1回 600円

◆参加申込み/直接、会場へお越しください。

TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス!

TNVNではインターネットのホームページやパソコン通信ネットワークで、活動情報の案内をしています。仕事や趣味にパソコンを活用する人々が急増してますます身近なものになりつつある現在、ぜひアクセスして日頃の活動にお役立てください。また、E-MAILによるTNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

<TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や会員団体の活動情報も掲載しています。

◆URL:<http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAIL ID:tnvn@t3.rim.or.jp

<NHKボランティアネット>

パソコン通信ネットワーク『NHKボランティ

アネット』では、TNVNをはじめ全国のボランティア団体の活動情報などが電話料金だけで(情報料は無料)とりだせます。

◆アクセス方法

1 電話番号 03-3375-1072 にアクセスし、ID番号を半角で「NVN20000」と入力する。

2 パスワードは不要なので、returnキー(または改行キー)を押す。

◆インターネットのホームページ

URL: <http://www.nhk.or.jp/nhkvnet>

<日本語プラザ>

大学等の日本語教育関係機関・教材会社などの日本語教育関係者によって構成されている日本語プラザ実験室のホームページにも、TNVNの活動情報が掲載されています。

◆アドレス <http://www.plaza.hitachisk.co.jp/~jpnedu/>

※上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

◆担当/前田 恭子

FAX:03-3412-6711

E-MAIL:QYF06475@niftyserve.or.jp

TNVN事務局の連絡先

TNVN事務局は、原則として毎週月曜日午後1～8時に東京ボランティアセンターで活動をしています。

TNVNへのお問い合わせ等は、下記までなるべく郵便かFAXでお願いいたします。

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・センター気付

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL:03-3235-1171 (呼出し/月曜日のみ)

FAX:03-3235-0050

日本語ボランティア相談は 毎週月曜にどうぞ

日本語ボランティア相談窓口は、下記のスケジュールで開設しています。日本語ボランティアやボランティアグループに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえますので、お気軽にご利用ください。

◆日時/毎週月曜日 午後2～7時

◆会場/東京ボランティアセンター

(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆電話でご確認の上、お越しください。

TEL:03-3235-1171(呼出し)

日本語ボランティア 出前講習会がスタート!

TNVNでは従来の日本語ボランティア育成講習会にかわって、今年から都内各地域での日本語ボランティア出前講習会をスタートすることになりました。これは、TNVNと地域の会員団体の共催によって開催する講習会で、会員相互の交流によって地域での活動を活性化することがその目的です。

第1回は、下記のスケジュールで開催の予定ですが、今後、開催を希望する団体の方は事務局までご連絡ください。

◆日時/5月20日(火)午後(予定)

◆会場/町田市内の公民館(予定)

◆講師/高柳 和子
(TIJ東京日本語研修所長)

◆テーマ/
これからの日本語ボランティアの教育

◆主催/TNVN、
まちだ日本語ボランティアネット

◆問い合わせ/TNVN事務局まで
講習会のあと、参加者による交流会も予定しています。

◆正会員(団体)/3,000円

◆協力会員(個人)/2,000円

◆振込先/

郵便振替口座番号

00100-1-719259

'97年の年会費納入のお願い

'97年のTNVN総会も終了し、新たな年度がスタートしました。(TNVNの事業年度・会計年度は1～12月です)'97年の年会費の納入はもうお済みでしょうか?まだの方はなるべく早く納入をお願いします。



インターナショナル ファミリーサービスの相談窓口

インターナショナルファミリーサービスでは、在日外国人の生活全般にかかわる相談や、女性と子どもにかかわる問題について相談を受けています。

◆受付時間／月曜～金曜日（祝日は除く）
9:30～18:00

- ◆相談内容／国際結婚・ビザ・健康・医療・就学・養子縁組・家庭内の問題など
- ◆費用／基本的に無料
- ◆対応言語／日本語、英語、タガログ語
- ◆問い合わせ・申込み／

〒166 東京都杉並区高円寺南1-5-4-408
TEL:03-5377-1347,03-3312-9515
FAX:03-5377-1348

旧ソ連邦へ派遣の 日本語教師を募集

（社）日本外交協会では、ロシアなど旧ソ連邦の国々へ派遣する日本語教育専門家を募集しています。

◆派遣地域／ロシア連邦・ウズベキスタン共和国・カザフスタン共和国・ウクライナの国立大学

◆派遣期間／'97年8月末～'98年6月末までの約10か月間

◆待遇／往復の航空運賃・生活手当・住居手当・現地活動手当など、規定により支給

◆応募資格／'97年4月1日現在で満50歳以下で、日本語学・日本語教育に関する修士号の学位を有するか、3月31日までに取得可能な方。さらに、2年以上の日本語教育経験、日本語教育能力検定に合格していることが望ましい。

（国内外での相当期間の日本語教育経験を修士号相当とみなすこともある）

◆応募手続き／所定の応募用紙に必要書類を添えて提出する。

◆応募締切り／'97年4月2日（水）必着

◆問い合わせ／（社）日本外交協会
国際事業部（担当：高橋）

TEL:03-3582-3371

FAX:03-3582-3021

郵便局で ボランティアコーナーを開設

郵政省では、ボランティアに関する情報提供のための常設展示コーナーや、ボランティア活動に関する相談に応じる専門のコーナーを開設しています。

＜ボランティアコーナー＞

◆開設場所／都内89局の集配普通郵便局（窓口ロビー等）

◆展示内容／国際ボランティア貯金の寄付金の活用状況、災害ボランティア口座の情報、ボランティア関係のイベント情報等

＜ボランティア専門コーナー＞

◆開設場所／東京中央局、新宿局、渋谷局、浅草局、立川局

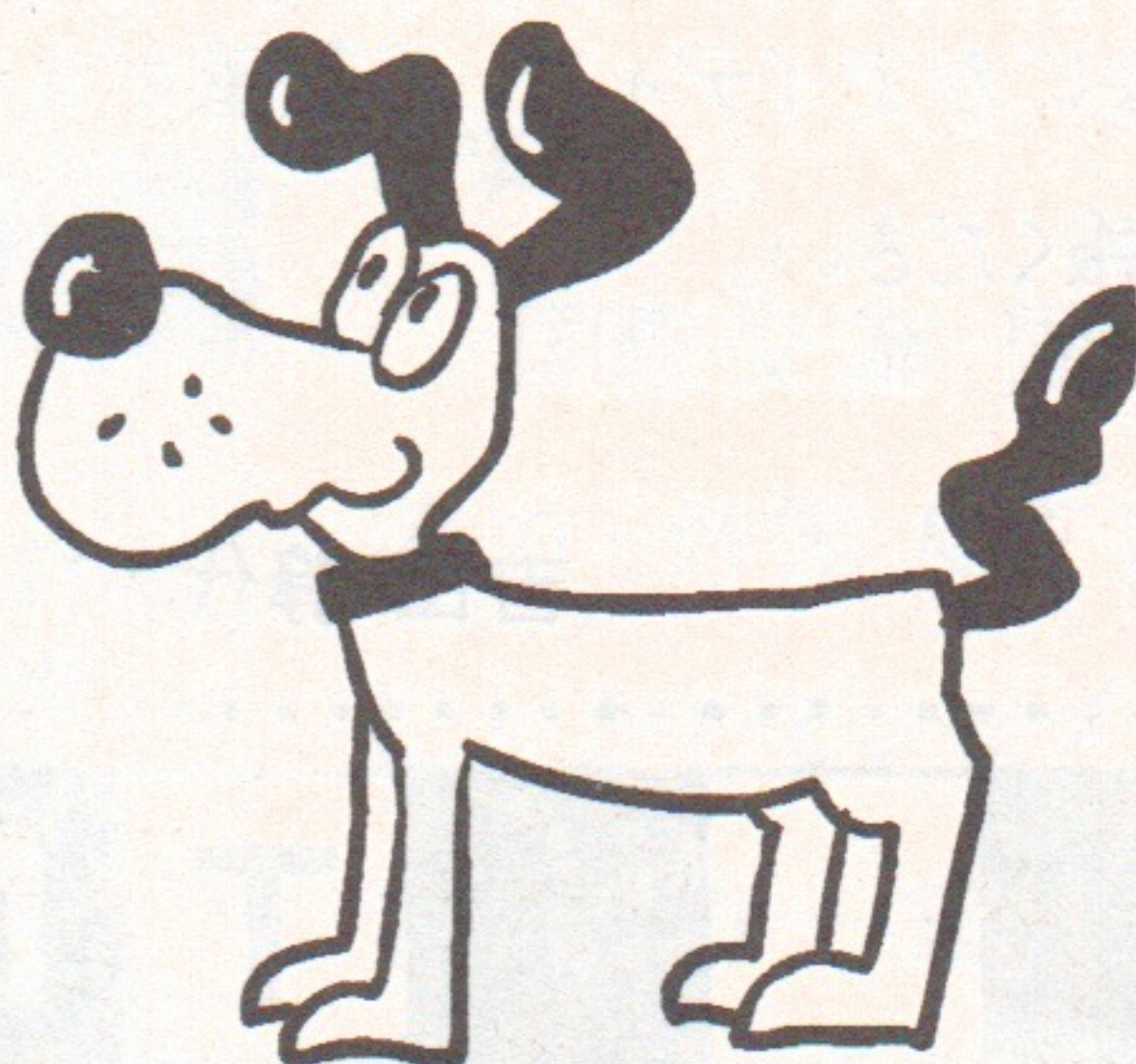
◆内容／地域の社会福祉協議会のスタッフなどが出張して、ボランティア活動に関する専門的な情報提供や相談に応じる。

（月1回程度／地域によって異なる）

◆問い合わせ／

東京郵政局貯金部企画課（担当／斉藤）

TEL:03-3243-8171



「外国人による日本語弁論大会」 出場者募集

（財）国際教育振興会と国際交流基金の主催で開催される「第38回外国人による日本語弁論大会」では、スピーチコンテストの出場者を募集しています。

◆日時／6月21日（土）午後1時～

◆会場／国立教育会館 虎ノ門ホール
（地下鉄銀座線 虎ノ門駅・丸の内線 霞ヶ関駅下車）

◆参加資格／母語が日本語でない方で、大会当日の年齢が満15歳以上の方。

（過去の大会で1位・外務大臣賞・文部大臣賞を受賞した方はのぞきます）

◆テーマ／自由（伝道・宗教などの内容は不可）7分以内

◆申込み方法／所定の申込み用紙とスピーチを録音したカセットテープ、その手書き原稿、顔写真を下記まで郵送。

◆締切り／5月7日（水）17時必着

◆問い合わせ／

（財）国際教育振興会 事業課
外国人による日本語弁論大会係

〒160 東京都新宿区四谷1-21

TEL:03-3359-0561

学習支援ボランティアを募集

青山日本語クラブでは、現在、日本語学習を支援するボランティアを募集しています。長期間にわたり安定して活動に参加できる方は、下記までご連絡ください。

◆活動日時／毎週火曜日

午前11時～12時30分

◆会場／地下鉄 表参道駅 徒歩3分

◆問い合わせ／林川 玲子

TEL:03-3473-5088

FAX:03-3473-5097

BULLETIN
BOARD



★KDD 国際電信電話(株)様

サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷にご協力いただきました。

★花衣アカデミーのみなさま

『TOKYO 地球市民フェスタ'97』の展示ブースでの和服着付&お茶席、ミニステージでのきものショーの開催にご協力いただきました。

★PEACE WINDS JAPAN 事務局様

快く取材に応じていただきました。

★ITJ 日本国際通信株式会社様

『ボランティア日本語教室ガイド 1997』の印刷にご協力いただきました。

★TOKYO 地球市民フェスタ'97 に出演してくれた多数の日本語学習者の方々

ミニステージでの『きものショー』の和服のモデルや、『ワールドパフォーマンス』での演奏等に参加していただきました。

メディアに見る
TNVN情報

◆リクルート 刊

『ケイコとマナブ』'97年3月号

日本語ボランティアとTNVNの紹介

◆(株)アルク 刊

『月刊日本語』'97年4月号

日本語ボランティアとTNVN活動の紹介

◆『くらしの木』'97年2月号

TNVN会員(かたつむり/北区)の活動の紹介

事務局DIARY

日本という小さな島国が、世界から注目されるなか、新しい春を迎えようとしています。TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークも一足早く、1月25日に第4回総会を無事終了することができました。

TNVN 設立以来、毎週1回、東京ボランティアセンターの事務局へと通い、雑務にかかわってきましたが、この間に、マスコミの取材を受けたり、電話等での問い合わせが増加したりと、日本語ボランティアへの関心が高まってきていることを実感しています。バブルがはじけたとは言え、物価の高いこの東京で学び、また働いている外国人に接していると、日本語ボランティアを通してさまざまな国々の文化を知ることができ、この楽しい時間はほかに代わるものはないと思います。

こんな活動のなかで感じることは、就職難と言われている昨今、羨ましがられるような企業を退職して、フリーターをしながら海外旅行に夢をかけている若い人たちのことです。そのなかで日本語ボランティアをしてい

るという人に出会うと、複雑な気持ちになるのは私だけでしょうか。

唯一、不満に感じることは、欧米の人たちばかりに目を向けたがるボランティアが多いことです。アジアの人たちとのコミュニケーションにも積極的に協力してほしいと思います。

東京日本語ボランティア・ネットワークの活動も4年目に入り、マンネリ化しないための新しい企画を考える時期です。会員の皆様もなにかアイディア、ご希望がありましたらご一報ください。

吉田 静代(TNVN 会計)

WELCOME!
新入会員のご紹介

◆正会員(団体)

初歩日本語/練馬区

目黒区国際交流協会/目黒区

◆協力会員(個人)

庄司 恵雄、三田 正子、井上 博晴、
溝口 裕、佐藤 正行、永松 信夫、
田辺 恵理子、谷 千恵子、高橋 律子
(敬称略)

'97年3月15日現在の会員数は、
正会員76団体・協力会員114名・賛助
会員11です。

編集後記

☺ 新しい『ボランティア日本語教室ガイド』の発行や『TOKYO 地球市民フェスタ'97』のための準備などが重なってしまい、今回のニュースレターの発行が遅れてしまいました。急いで原稿を書いてくださったみなさま、ほんとうにごめんなさい!これにこりず、これからもご協力ください。

🐾 KYOKO

☹ 「京都は今頃、雪できれいでしょうね」という言葉にだまされ、行ってきた。雪どころか杉の木々に囲まれて、くしゃみの連発。何で来たんだろう…。そろそろ桜の時期。自分で調べてから行こうっと。

パーラーク

☺ 暖冬だったとはいえ、やはり春の訪れはうれしいもの。私自身特別に生活の変化はないけれど、気持ちを新たに、明るく前向きに!

☘

Sumiko

発行人/中田紀子 編集人/前田恭子

レイアウト/鶴田環恵

T N V N と は

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。

